

札幌市議会自民党・市民会議
会長 村松正海様

発言の撤回と謝罪・厳正な処分を求める申し入れ

2014年8月22日
札幌市議会公明党議員会
会長 本郷俊史

貴会派の金子快之市議会議員が「アイヌ民族なんて、いまはもういない」とのツイッターへの書き込み及び、これまでの発言により、多くのアイヌ民族の人々の心を傷つけている事は明らかであります。

又、2007年9月の国連総会で採択された「先住民族の権利に関する国際連合宣言」を受け、国会が2008年6月にアイヌを先住民族とする決議を全会一致で採択し、現在「民族共生の象徴となる空間」の設置計画など、総合的な施策が政府によって進められております。しかしながら、金子議員のこれまでの発言は、先住民族とする決議の趣旨を理解することなく、アイヌ民族の存在を否定し、施策そのものを否定するものであります。

よって公明党議員会は、金子議員のこれまでの発言の撤回とアイヌ民族の人々への謝罪を求めるとともに、会派として厳正な処分を検討することを求めるものであります。